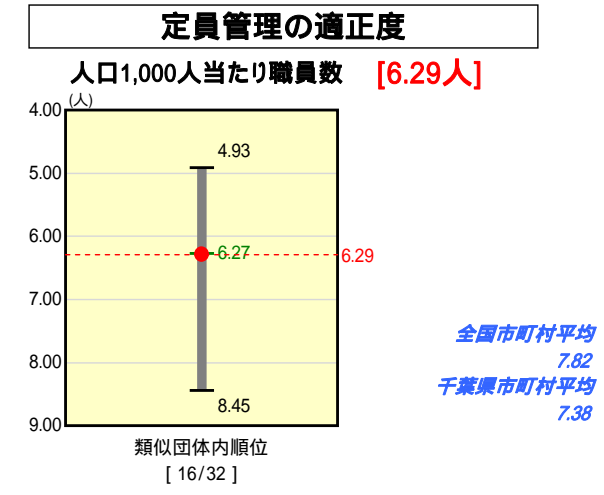
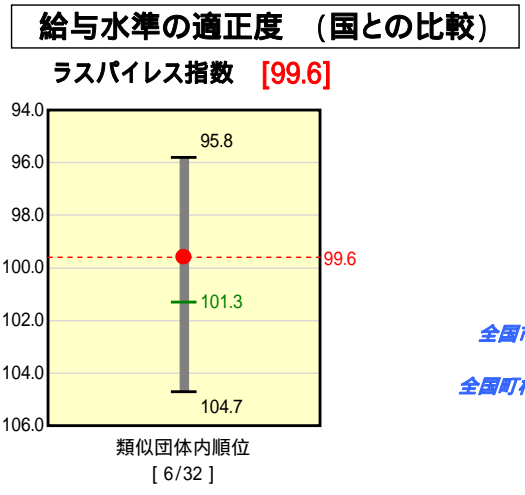
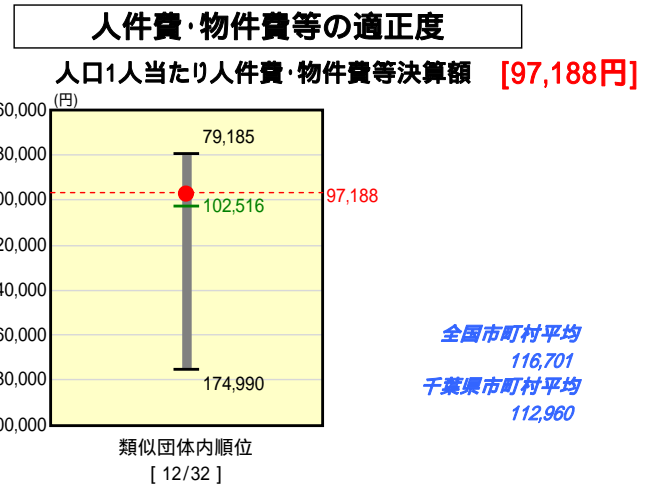
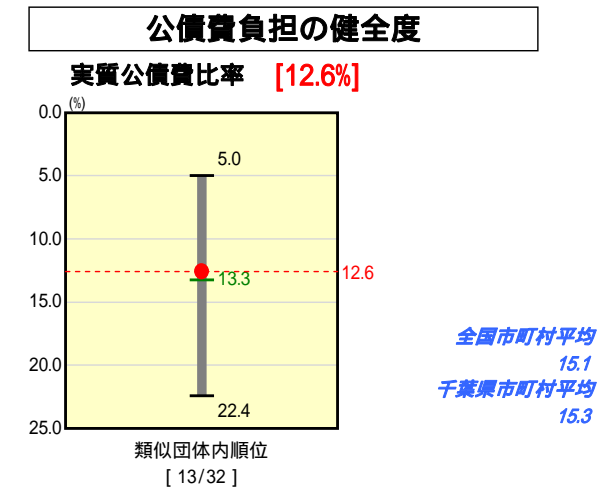
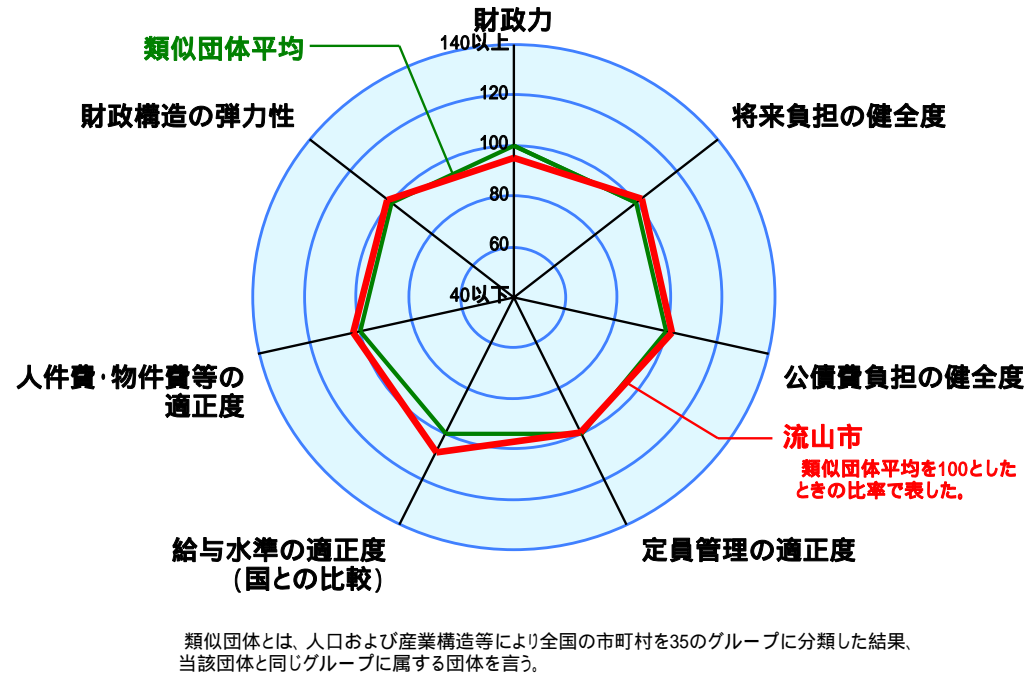
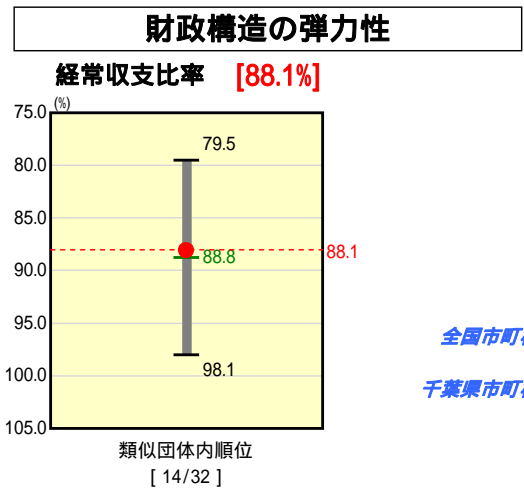
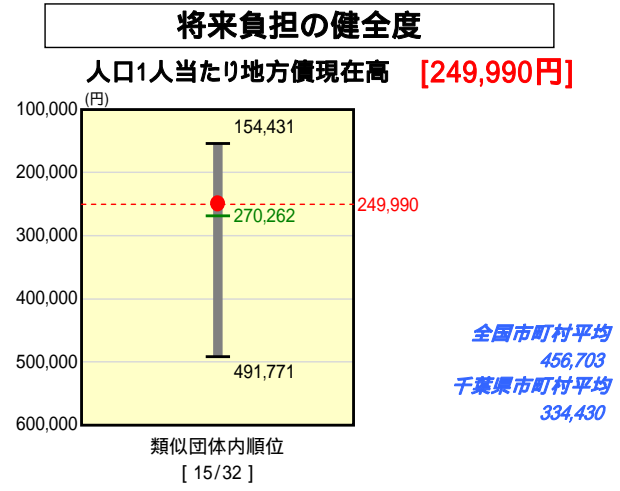
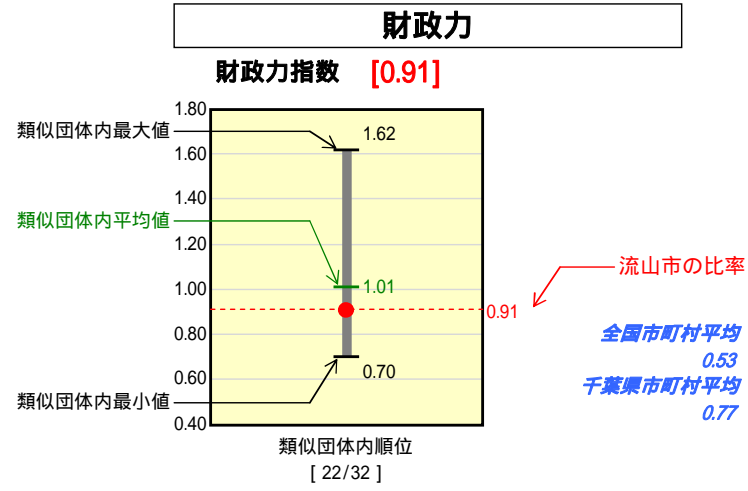


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 流山市

人口	154,196 人(H19.3.31現在)
面積	35.28 km ²
歳入総額	35,635,730 千円
歳出総額	33,344,551 千円
実質収支	1,898,993 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力 財政力指数
この4年間で連続した伸びを見せており、0.91となっています。市税徴収率の向上への取組みの成果(4年間で2.0ポイント向上)等が要因として挙げられます。今後とも、市税の徴収確保に努め、財源確保を図っていきます。

財政構造の弾力性 経常収支比率
人件費で約3億円の削減を図りましたが、乳幼児医療費や児童手当等少子化対策経費の増加により扶助費が約3億7千万円、平成13年度から行ったごみ焼却施設建設に係る元金償還が始まったため公債費が約3億円増加したことにより、前年度に比べ0.8ポイント上昇しました。今後とも人件費の削減はもとより、事業の見直し等により経常経費の削減を図っていきます。

人件費・物件費の適正度 人口1人当たり人件費・物件費等決算額
職員採用の抑制による人件費の削減や経常経費の削減等により、全国及び千葉県市町村、類似団体内の平均値を下回っています。

公債費負担の健全度 実質公債費比率
昨年度に比べ1.0ポイント減少し12.6%となりました。これは、一部事務組合への負担金の減少と、税収の伸びによるものと考えられます。今後とも引き続き地方債の厳選を推進し、地方債発行の抑制及び良質地方債の発行に努めていきます。

将来負担の健全度 人口1人当たり地方債現在高
地方債残高総額が約10億円減少し、人口が増加したため昨年度に比べ8,863円減少しました。現在本市では、平成17年度から平成21年度までの5年間の地方債発行総額を、平成12年度から平成16年度までの地方債発行総額(198億5千万円)に対して、10%削減することを目指しています。

給与水準の適正度(国との比較) ラスパイレス指数分析
本市のラスパイレス指数については、給料表の切替、退職者の不補充、昇格の抑制などの人件費の縮減を図るなかで、昭和61年度の111.9をピークにラスパイレス指数が減少し、最近では、千葉県下において下位になるなど、給与の適正化に努めてきました。今後ともラスパイレス指数の変動要因に注視しつつ、より一層の給与の適正化に努めていきます。

定員管理の適正度 人口1,000人当たり職員数
平成17年度及び平成18年度に職員の新規採用を抑制したため、職員数は類似団体との比較でも平均に位置しています。平成17年度に改定した定員適正化計画では、アウトソーシング計画の推進により、平成17年度から平成22年度までに職員数を140人削減する数値目標を設定しています。